

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌に対する根治切除後再発における予後因子
	研究目的	近年の化学療法の進歩にも関わらず、胃癌術後再発の生存期間中央値は13～16か月と不良である。術後再発の予後因子を解明することは再発後の予後を改善するために重要である。胃癌に対する根治切除後再発における予後因子を後方視的に検討する。
	研究対象者	2000年6月から2017年3月まで胃癌に対し根治手術を施行した後に再発した225例を対象とする。
	研究期間	西暦 2020年3月25日～西暦 2025年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科 胃食道
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし